

確かな復興への歩を進め、 「みなとまち塩竈」の再生へ

特集
平成25年度
予算概要

市政運営の両輪である「第5次長期総合計画」と「塩竈市震災復興計画」を迅速かつ着実に推進するために、復旧・復興事業等の必要な事業を最大限計上した予算となりました。今月号では、平成25年度予算概要をお知らせします。

また、「塩竈市震災復興計画」に基づく震災からの早期の復旧・復興をさらに加速させるための予算として「ふるさと復興枠」を新設しました。

さらに、「第5次長期総合計画」に基づく事業予算と合わせて、喫緊の修繕が必要な施設を対象とした「既存ストック再生枠」を新設し、子どもたちが利用する施設などの維持補修費に対して重点的に予算配分を行いました。

25年度一般会計当初予算は351億8千万円。震災復旧・復興関連事業費や義務的経費の増などにより、前年度比71億7千万円（25・6％）増の過去最大の規模となりました。

25年度予算の特徴点として、漁港や道路の災害復旧、復興交付金事業などの復旧・復興関連事業を本格実施する予算として152億3436万円計上しています。

25年度当初予算においては、国の24年度大型補正予算を活用した事業の前倒し（補正予算に対応）と合わせて、切れ目のない事業予算を計上しています。震災からの早期の復旧・復興と第5次長期総合計画を迅速かつ着実に推進し、市民の皆さんが「確かな復興」を実感していただけるように各種事業に取り組んでいきます。



▲国の24年度補正予算を活用して防災施設が整備される清水沢公園

平成25年度一般会計当初予算 351億8,000万円

総務費 災害派遣職員関係費の計上などにより、2億4,055万円増加。

民生費 福祉サービス費の増や子ども医療費助成の対象者拡大により3億8,364万円増加。

衛生費 災害廃棄物処理事業の減額などにより54億5,935万円減少。

農林水産業費 高度衛生管理型荷さばき所整備事業の計上などにより35億1,091万円増加。

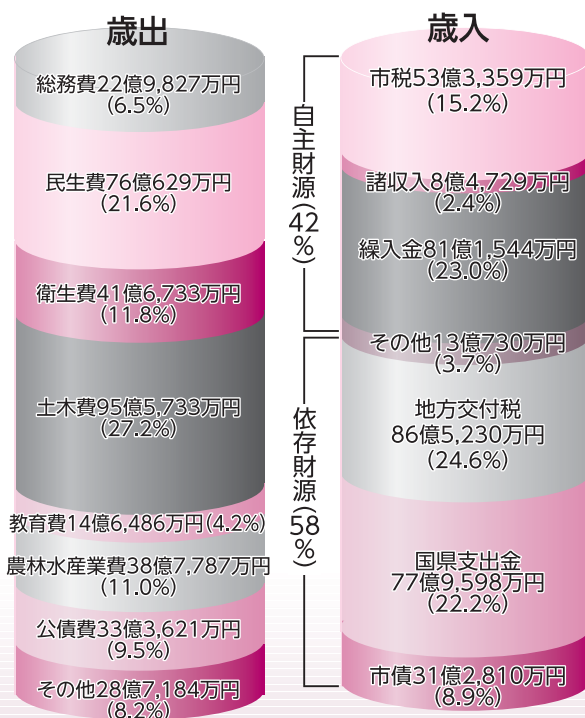
土木費 災害公営住宅整備事業など復興交付金事業の本格実施に伴い、74億5,794万円増加。

教育費 学校施設の維持修繕費などの増額により1,411万円増加。

公債費 前年度比較で8億3,022千円の増加となったが、銀行等引受債の借換による償還等の特殊要因を除くと、1億1,249万円減少。

その他災害復旧費 地震・津波で被災した市内道路や漁港の災害復旧費用の計上により1億5,572万円増加。

うち、震災復旧関連予算152億3,436万円
予算規模は前年度から71億7,000万円の増



市税 個人市民税は減額の一方で、固定資産税など震災特別措置の終了に伴う大幅な増額を見込むことで、前年度比較で5億5,619万円増加。

繰入金 復興交付金事業の財源となる東日本大震災交付金基金からの繰入や、ふるさと復興枠の財源となるふるさとしおがま復興基金からの繰入により、76億4,485万円増加。

地方交付税 震災復旧・復興事業の地方負担分や災害派遣職員関係費に対応するための経費として、震災復興特別交付税28億430万円の計上などにより、18億8,930万円増加。

国県支出金 災害復旧事業の収束などに伴い32億3,744万円減少。

市債 災害公営住宅の整備など復興交付金事業の本格実施による新規発行に伴い3億5,130万円増加。